

平成28年度 九州地方整備局 新技術評価技術一覧

【事後評価】

評価区分の定義(活用効果評価)

実施要領 3.5 新技術の活用促進

評価区分	内容
活用促進技術	活用効果評価において、それぞれの評価会議が選考し指定するもの <選考要件> イ 総合的に活用の効果が優れている技術 ロ 特定の性能又は機能が特に優れている技術 ハ 特定の地域のみで普及しており、全国に普及することが有益と判断される技術 ニ その他評価会議が選考し指定する技術
-	上記以外

NETIS掲載期間終了技術

九州の技術:九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された新技術

	技術名称※	評価区分	継続調査	備考
1	斜面崩壊センサ 【CB-100038】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類:調査試験
2	地下埋設物防護具『CSボックス』 【CG-100021】	活用促進技術	継続調査の必要性あり -VR	分類:電線共同溝工
3	エンパソル 【QS-110033】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類:調査試験
4	KS-EGG工法 【CG-010009】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類:軟弱地盤処理工
5	浸透固化処理工法 【KT-990230】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類:薬液注入工
6	Superjet(スーパージェット)工法 【KK-980026】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類:深層混合処理工
7	テノコラム工法 【KT-990238】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類:深層混合処理工
8	パワーブライスター 【TH-990071】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類:構造物とりこわし工
9	SQSシステム工法レジテクト CVスプレー工法【CB-980104】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類:防水工
10	埋設物切断事故予防発色管『Wセンサー』 【KK-050121】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類:電線共同溝工
11	スカイキャッチャー 【QS-060016】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類:調査試験
12	ピエゾドライブコーン 【TH-100032】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類:地質調査